

グリーンとリサイクルに関する用語、リサイクル率計算方法例について

令和 7 年 5 月 28 日に開催の日本アルミニウム協会（当協会）第 303 回理事会において、グリーンとリサイクルの用語、リサイクル率計算方法例を一般公開することが承認されましたので、以下に紹介いたします。

① グリーンとリサイクルに関する用語

・グリーンアルミ

グリーンアルミ原材料もしくはリサイクルアルミ原材料、あるいは、それら両方を使用して製造された製品(板・押出などの素材)を対象とします。

これにより、行政支援の対象を明確化することを通じて、グリーンアルミ原材料やリサイクルアルミ原材料を使用して GHG 排出量を削減した製品（マスバランス・割り当てを含む）の普及促進を図ります。

・グリーンアルミ原材料

アルミニウム原料（地金、インゴット、スラブ、ビレットなど）を対象とします。低 GHG 原料を明確化することを通じて、非化石エネルギーを発電源とした製錬により生産されたアルミニウム原料の使用比率を高めることを推進して参ります。

・リサイクルアルミ原材料

アルミスクラップ（ポストコンシューマ、プレコンシューマのいずれも可）もしくは、アルミスクラップを再生したアルミニウム原料（地金、インゴット、スラブ、ビレットなど）を対象とします。

リサイクル原料の明確化を通じて、アルミスクラップ（ポストコンシューマ、プレコンシューマのいずれも可）の使用比率を高める取り組みを推進します。

② アルミ展伸材の様々なリサイクル率計算方法例の紹介

当協会の会員企業では、大別して 4 つの方法でリサイクル率の計算を計算しており、これらを紹介します。

Type I 原料投入量当たりの回収原料率を求める方法

Type II 原料投入量当たりの循環原料率を求める方法

Type III 出荷量当たりの非一次原料率を求める方法

Type IV 出荷量当たりの回収原料率を求める方法

なお、Type I, II は生産管理に適しており、Type III, IV は製品説明に適していると考えられます。

詳しくは、添付の資料をご確認ください。

以上